

袋田の滝 恋人の聖地に

日本三名瀑の一つ、大子町の袋田の滝が昨秋、「恋人の聖地」に名を連ねた。町は選定を記念し、町の鳥オシドリのつがいをイメージしたモニュメントを観瀑トンネル内にある展望台に設置、全国額縁組合連合会が制定した「恋人の日」の十二日に合わせて除幕式を行い、永遠の聖地を誓った。

(山下葉月)

町の鳥 オシドリの記念碑除幕

恋人の聖地は、静岡市のNPO法人「地域活性化支援センター」が、少子化対策と地域活性化を目的に二〇〇六年から選定している。現在、全国に約二百カ所ある。

町は昨秋、袋田の滝が恋愛のパワー

オシドリ
のつがいを
イメージした
モニュメント
を大子町で

スポットとして、じわりと人気を高めていることに着目し、センターに申請。水量によって、滝の岩のくぼみがハート形に見えることなどが評価され、笠間市の「陶芸の里かさま」に続き、県内二カ所目の聖地に選ばれた。

お披露目されたモニュメントは銅製で、高さ、幅とも七十センチ、奥行き四十センチ。恋人の聖地を示すプレートの上で、雄と雌二羽のオシドリが仲良くハートを形作っている。町の地域おこし協力隊の鍛金作家友常みゆきさん(四十四)がデザインした。

友常さんは小美玉市出身で、昨年四月に大子町に移住した。茨城大で、金属をたたいて加工する鍛金を学び、都内の指輪の制作会社で働いた経験がある。

「大子町ならではのデザインを」と熟考を重ねた末、「町の鳥がオシドリと知ってピンときた」。「恋人同士として訪れた後は、結婚して家族ができて、また訪れる聖地になってほしい」と願いを込める。

除幕式には綿引久男町長や友常さんらが出席し、聖地としての門出を祝った。恋人証明書の発行も近くの観瀑事務所で始めた。

問い合わせは町観光商工課☎電0295(72)11338へ。

